
私と母と婆のお話・・・

貂寡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私と母と婆のお話・・・

【著者名】

N2933D

【作者名】

貂寧

【あらすじ】

「今日、婆が死にました・・・」私の悲しそうと母の悲しそうのお話・・・

今日、12月2日

長生きだった婆が死にました・・・・

年は89才もうすぐ90を迎える婆でした・・・・

私が、学校を早退して病院に向かっているときに
ケータイが鳴り婆が死んだことを知りました・・・・

その時・・・頬に何かが伝つていきました・・・・

お通夜に、今日行きました・・・・
3年前の爺の時もそうだったようにたくさんの人気が集まつていまし
た・・・
話したこともないような人たちばかりでした・・・・

婆は、肺炎で死にました・・・・

一度お見舞いに2日前に言つたときは、元気だつたのに・・・・

今日、そのほっぺをこらうと、とても冷たくなつていきました・・・・

・
指先が氷のように冷たいほほに触れると・・・また涙がこぼれてい
きました・・・・

翌日、お葬式がありました・・・
婆が・・・焼かれました・・・
その夜のことでした・・・
母が、婆との思い出を語ってくれました・・・

「私が、小学の頃友達とけんかしてねー泣きじゃくって家に帰った
んだけど・・・
婆ちゃんがね・・・女の子がけんかするもんじやないんだ・・・
謝つておいで・・・！！！
・・・怒つてね・・・まあそれがあつて・・・伊豆子ねばさん
がいるんだけどね・・・」

やつこつて母は、顔に垂れていた涙を拭きました・・・

婆が死んだとき、私は知りました・・・婆がたばこを吸っていたことを・・・

母は、その時言いました・・・

「たばこは、体に悪いんだから絶対吸っちゃあいけないよ・・・お酒もだからね・・・」

けど私は知っています・・・母も、お酒を夜中に飲んで過ごしていることを・・・

母は、お葬式の時言いました・・・

「母、玉卯真生は皆さんが今田この田に来てくださいたことを感謝しているでしょう・・・

それと同時に父と一緒に天国へ、行かれたと想つことで感謝の意を込めたいと想います・・・」

けど・・・私は、知っています・・・
まだ婆がこの夜に残つて・・・まだ、母の隣で見守つていふこと
を・・・

(後書き)

物語性は、特に入れませんでした・・・
私と婆は、仲良しの姉妹みたいな仲でした・・・
是非、評価をしていて下さい・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2933d/>

私と母と婆のお話・・・

2010年12月4日14時30分発行